

人工雪の雪山ができ始めたゲレンデ＝18日午前、神戸市灘区六甲山町(撮影・後藤亮平)



六甲山 一足早く雪景色

NEXTに
動画

人工スキー場 造雪作業始まる

六甲山の人工スキー場「六甲山スノーパーク」(神戸市灘区)で18日、造雪作業が始まった。関西では最も早い11月17日にオープンするという。

三つのゲレンデを備える初心者にも人気のスキー場。今季は来年3月末まで、1355日間の営業を予定している。造雪作業は1日当たり約240トンの人工雪をまいて最終的に約7200トンを積もらせ、オープン前日に雪上車で平らにならしてゲレンデを整える。

この日の作業は午前10時前、第1ゲレンデでスタート。製氷機から延びるホースの先から細かく砕いた水が勢いよく噴き出し、見る見るうちにこんもりとした雪山が出来上がった。

同パークでは近年、外国人旅行者の利用も増え、来園者数が伸びているという。運営する六甲山観光の野田修太郎さん(25)は「アクセス抜群のスキー場で、今年も存分に楽しんでほしい」とPRする。

(黒川裕生)